

Cisco Response Solutions (CRS) の AppAdmin ページから RM JTAPI プロバイダーを作成できない

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

Cisco Customer Response Solutions (CRS) Appadmin のページから Resource Manager (RM) Java Telephony Application Programming Interface (JTAPI) プロバイダーの作成を試みると、その試みは次のエラー メッセージのいずれかで失敗します。

- LDAP RMJTAPI
- Jtapi

この問題は Active Directory (AD) と Cisco CRS を統合と発生します。

[前提条件](#)

[要件](#)

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco CallManager
- Cisco CRS
- Active Directory

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CRS 4.x
- Cisco CallManager 3.3 以降

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

アクティブディレクトリ統合を使用するとき RM JTAPI プロバイダを追加することができないことの問題はこれらのシナリオでは発生する場合があります：

- CRS 4.x サーバの RM JTAPI プロバイダを作成する時
- 新しい CRS 4.x の RM JTAPI プロバイダを設定するときシステムをインストールして下さい
- リストアプロセスの間に LDAP 移行ステップを実行する間、CRS 3.x システムから CRS 4.0 システムに移行する時

Cisco CallManager AD プラグインが AD 管理者ユーザを持っていることを防ぐセキュリティ制約とインストールされていたらユーザ Organizational Unit (OU) に特権を、CRS できません AD の JTAPI/RM JTAPI ユーザを作成こと書いて下さい。これによりこれらのサブシステムの設定は失敗します。また CRS 3.x から CRS 4.0 へアップグレードするとき、移行ウィザードは AD のこれらのユーザを作成できません。これによりバックアップと復元システム（バー）からのリストア操作は失敗します。

解決策

AD と CRS を統合場合、すべての Cisco CallManager サーバでこのプロセスを行う必要がありますこの問題を解決するために JTAPI プロバイダで設定される：

1. C:\dcsvr\config に参照し、Notepad の UMDirectoryConfiguration.ini ファイルを開いて下さい。注: Notepad のファイルを開いて下さい。他のテキストエディタのファイルを開く場合、アプリケーションはファイルを破損するかもしれません。
2. UMDirectoryConfiguration.ini ファイルでは、UserDirAccesskey を見つけ、本当に値を変更して下さい。
3. Notepad から、ファイルを保存し、UMDirectoryConfiguration.ini ファイルを閉じるために File > Save の順に選択して下さい。
4. [Start] > [Run] を選択します。
5. regedit と入力し、[OK] をクリックします。
6. に <file://\HKEY_LOCAL_MACHINE\ソフトウェア\Cisco> \HKEY_LOCAL_MACHINE\ソフトウェア\シスコシステムズ、レジストリ内の株式会社\ディレクトリ設定参照して下さい。
7. 右のペインでは、DirAccess レジストリキーをダブルクリックして下さい。false のレジストリ入力を削除し、新しいレジストリ入力として true と入力します。
8. IIS Admin サービスおよび依存サービスを再開するためにこれらのステップを完了して下さい:>Tools> 管理上のサービス 『Start > Programs』 を選択して下さい。IIS Admin サービスを右クリックし、次に『Restart』 を選択して下さい。関連サービスの再起動を求めるダイアログボックスが表示されます。これらのサービスは設定に基づいて異なることができま

す。依存したサービスを『Yes』をクリックし、再開して下さい。

関連情報

- [Cisco カスタマ ディレクトリ設定プラグインのインストールおよび設定](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーション サポート リソース](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)